

# with smile

パラスポーツ、やったことありますか?号



「スマイルアスリート」  
バドミントン  
松本 麻佑さん

特集

広がる、パラスポーツ

事務局からのお知らせ



オリンピック・パラリンピック出場者からのメッセージ

## スマイルアスリート

まつもと まゆ  
バドミントン 松本 麻佑さん

### 最近の活動について

札幌市厚別区出身。小学1年生からクラブチームに入り、本格的にバドミントン競技を始め、兄の影響で始めたバドミントンは今年で20年目に突入しました。

小・中学校ともに北海道1位になり全国大会へ出場しますが、なかなか結果が出ませんでした。中学卒業後は江別市のとわの森三愛高等学校に進学。高校での最高成績は2年生の選抜大会の複準優勝3位でした。その成績をきっかけに、ジュニアナショナルにも選考されました。

卒業後は北都銀行に入行し、同い年で北海道出身の永原和可那とペアを組み始めました。入行から5年後に念願のA代表に入り、2018年に行われた世界選手権で初優勝しました。この優勝でオリンピックへの切符を手にすることが出来ました。

2021年9、10月に出場したスディルマンカップとユースカップでは、どちらも準優勝の結果で終わりました。現在は12月の世界選手権に向けて練習をしています。

### びっくりエピソード

オリンピック開会式の長さとかオリティに驚きました。今までは開会式というものにそもそも興味がなかったのですが、自分自身が出る大会なら…と見ていたところ、夜中まで続くことにも驚きましたし、日本ならではの感性を表現していて、とても感動しました。

また、取材や放映の多さにもびっくりしました。試合直前はコロナの影響もあり、取材はあまり多くなかったのですが、大会が始まってからは試合後の取材の多さにとても驚きました。グループリーグもすべて放映され、1回戦の時点で色んな方から連絡を頂いたことが嬉しかったのを覚えています。オリンピックの凄さを肌で感じた毎日でした。

### ボランティアへの思い

オリンピックは非常にたくさんの方のサポートがあって成り立った大会でした。毎日朝から晩まで作業してくださったり、試合が始まる遙か前から準備してくださったり、その方々に支えてもらってプレーすることが出来たと思います。

また、試合に出る選手がストレスを感じないようにサポートしてくださったこと、オリンピックをテレビで観る方が気持ちよく観られるよう、常にたくさんの方が動いてくださったことにとても感謝しています。本当にありがとうございました。

### 競技に対するモチベーションのあげ方

モチベーションの維持は、誰もが一度は難しいと感じたことがあると思います。

私もコロナ禍になってオリンピックも延期が決まり、試合もなくなり、生きがいであるバドミントンさえできなくなった時期は、モチベーションが今までにないくらい下がりました。そんなとき、私のモチベーションを支えたのは自分の夢と目標でした。オリンピックがあると言われていた限りは、そこへ向かって全力で立ち向かわなければいけないと思い、何事も頑張れました。

あとは、コロナ禍のおかげでバドミントンが大好きなんだと再認識でき、毎日楽しみながらバドミントンができることに、今はとても感謝しています。

アスリートからの  
挑戦状

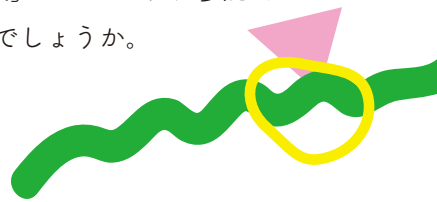
私は自分のモチベーションを上げるため、試合の前日に良かった試合を見直している。○か×か。

※解答は3ページ下にあります

「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」という3つのスポーツ活動。スマサポの皆さんには聞き慣れた言葉かもしれません。この3つは、すべての人がスポーツを楽しめる社会を目指す文部科学省が2010年に定めた「スポーツ立国戦略」のなかに明記されています。スポーツボランティアに協力していただいている皆さんは、まさに「ささえるスポーツ」の一員です。

さて、スポーツ立国戦略の公表から10年以上が経ちました。様々な形で「すべての人」がスポーツに参加できるように考え出された指針ですが、現在「障がいのある人」はどの程度参加できているのでしょうか。

## 広がる、パラスポーツ



### スポーツと障がいのある人

障がいのある人がスポーツを観戦することはあっても、自分自身が積極的にスポーツを行ったり、ボランティア活動に従事したりする機会は少なく、障害のある人が「するスポーツ」と「ささえるスポーツ」から切り離される傾向があります。

文部科学省は、過去1年間にスポーツを週1回以上行った20歳以上の障がいのある人の割合はおよそ18%であると報告しています(笹川スポーツ財団[2014]. 文部科学省委託調査『健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業』報告.)。

### パラスポーツに無関心?

社会全体の障害者スポーツ(以下「パラスポーツ」)への関心の低さも見過ごせません。今年のパラリンピックが国内で開催されたこともあり、大会期間中はパラスポーツを特集するテレビ番組が増え、障がいやパラスポーツについて学ぶことができました。

しかし、日本財団パラリンピック研究会の報告によると、パラリンピック以外でパラスポーツを直接観戦した経験のある日本人は、わずか4.7%。

一方、海外に目を向けると、アメリカとドイツでは約19%、韓国やオーストラリアにおいては約13%前後となっており、いずれも高い割合とは言えないものの、日本に比べ3~4倍多くの方がパラスポーツに関心を持っているようです(日本財団パラリンピック研究会[2014].『国内外一般社会でのパラリンピックに関する認知と関心』報告書.)。

### パラスポーツ for All

障がいのある人と生活空間を共にすることや障がいのある人と接する機会が多いことは、障害に対する「緊張感」を和らげるとされています(信太奈美、池田由美[2018]. 障がい者スポーツへの関わりに対する障がい者との交流およびスポーツの経験の影響: インターネット調査の結果から. 日本保健科学学会誌 vol.21, no.3, 121-129.)。

東京2020パラリンピック大会を機に共生社会を目指す日本国内では、障がいのある人やパラスポーツとの接点のない人たちに向けた「パラスポーツ啓蒙活動」が広がっています。

たとえば先月24日、札幌市内のカフェで大学生や専門学校生を対象としたパラスポーツのセミナーが開かれたほか、今月3日には市

内大型商業施設でパラスポーツ体験会や選手によるトークショーが開催されました。

### 私たちができること

健全者と同様、障がいのある人が必要とするサポートはさまざまです。それゆえ、パラスポーツのボランティアとして必要な知識や技術は多岐に渡り、一朝一夕で身に付けられるものではありません。しかし、障がいのある人やパラスポーツについて少しずつ学んでいくことはできます。

また、パラスポーツは障がいのない人もプレーできるものがあり、札幌を拠点に活動する車いすバスケットやゴールボールのパラスポーツ団体では、見学や体験会を随時実施しています。

パラスポーツは障がいのある人だけが何か特別なことを行う場ではなく、持っている能力を最大限に生かすことができる機会のひとつです。

より多くの方がパラスポーツに参加する未来づくりの一步として、まずは障がいのある人とない人が共にスポーツを楽しむことから始めてみるのも良いかもしれません。



## 事務局よりお知らせ



**50<sup>th</sup>**  
**Anniversary**

歴史と感動を、  
次の世代へ

### 札幌オリンピック 50 周年記念事業

#### 郵送

〒060-0002

札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 1 番地

7 ORE 札幌ビル 9 階

札幌市スポーツ局招致推進部調整課  
宛て

FAX 011-211-3048

#### ▼ ホームページからも投稿できます ▼



<https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/50anniversary/1972omoideshu.html>

## 1972 札幌オリンピック 思い出の写真&エピソード募集

来年 2 月、札幌オリンピックが 50 周年を迎えます。札幌市スポーツ局が「札幌オリンピック 50 周年記念事業」の一環として、市民の皆さまから当時の思い出の写真やエピソードを募集しています。

「あの選手がすごかった!」、「家族全員がテレビに釘付けになって試合を見ていた」「真駒内スピードスケート競技場（現：真駒内セキスイハイムスタジアム）で開会式を見た」など、大会にまつわる思い出をお寄せください。

寄せられた思い出写真やエピソードは、来年の 50 周年記念事業のホームページや関連イベント等で紹介されます。また、大会の思い出を次世代に引き継ぐため、子どもたちのオリンピック・パラリンピック教育にも活用される予定です。

### 投稿方法

住所、お名前、年齢、電話番号、お持ちの方は Fax 番号を記載の上、左記の宛先までお送りください。締め切りは令和 4 年 1 月 31 日（月）。お送りいただいた写真（現物）は令和 4 年 3 月末までに返却されます。

### お問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 北川・民部・北野

TEL 011-211-3042

## とつぜん 競技紹介

### バイスキー Bi Ski

椅子の下に 2 本のスキー板が固定されたアルペンスキーの一種。

介助者と一緒に滑走します。

#### どんな人がやっているの？

四肢麻痺の方  
座位保持のできない方  
あらゆる障がいのある人  
障がいのない人も！



### 小学校スキー学習支援ボランティア 準備中！

まもなく、スマサポの皆さまに参加申込 & アンケート調査を送付する予定です。参加を希望する方もしない方も、アンケートへのご協力をお願いいたします。



spovol@sgsc.jp  
Fax 011-200-0314

さっぽろグローバルスポーツコミッション  
011-200-0905

## 今後の活動予定

スマイル・サポーターズ事務局は、札幌市と北海道の感染状況を踏まえた上で、スマサポの派遣再開について慎重に検討しております。現時点で派遣希望のあるイベントや大会はありませんが、来年 1 月より札幌市内の小中学校での「**スキー技術のいらない**」スキー学習支援ボランティアがスタートする予定です。1 年ぶりのボランティア活動、ぜひご参加ください！

11 月に入り、生活面での様々な規制が緩和されました。行動範囲が広がるとともに、人と会う機会が増えそうですね。そんな中でも基本的な感染症対策を継続し、今後予想される新型コロナウイルス感染症拡大の第 6 波を抑えましょう。

アスリートからの挑戦状の答え：○。自分の良いプレーや勝った試合を見て、良いイメージを持つようにしています。